



決勝レポート 2009/9/27 Rd-9 スポーツランド SUGO

最終戦 決勝の日を迎えたスポーツランド菅生は肌寒い曇り空。決勝スタート 1 時間前には小雨もぱらつき始める。スタート時刻が近付くにつれ、気温はぐんぐんと下がり、更に小雨もやや多くなり始めたが、ウェットタイヤを履くには至らない状況のなか、62 週のサバイバルレースはスタートを迎えた。

ライオン選手は抜群のスタートで 11 位から 3 つポジションアップし 8 位へ。同じく好スタートを見せた伊沢選手であったが、1 コーナーの位置取りに手こずりやや失速、1 つポジションを落とし、ライオン選手の後ろ 9 位でオープニングラップを周回した。

低い路面温度に加え少しずつ濡れ始めた路面のコンディションなか、綱渡り状態でバトルを繰り広げるが、タイヤ本来の性能を発揮し始めた 5 周目あたりから、伊沢選手の速さが際立ってきた。7 周目には一気に前に行くライオン選手に追いつき、メインストレートでライオン選手をパッシングしようとしたその時、ブロックするライオン選手と接触をしてしまう。この接触で、ライオン選手は右リアタイヤをパンク、伊沢選手はフロントウィングを破損し、共にピットインを余儀なくされてしまった。

その後雨脚が強くなり始め、伊沢選手は 12 周目にウェットタイヤに交換。ドライタイヤで賭けに出たライオン選手も、たまたま 19 周目にウェットタイヤを履いた。

両者のウェットコンディションでのスピードは素晴らしく、諦めることなく前を追うも、ピットインのタイムロスを取り返すには至らず、伊沢選手 11 位、ライオン選手 13 位で最終戦菅生を終えた。

40 : リチャードライオン選手 13 位

伊沢選手との接触は非常に残念だった。彼のペースが速かっただけに申し訳ないと思う。ウェットコンディションでのペースはとても良かったから、いいレースが出来たはずだった。今シーズン中盤以降、車はどんどん速くなって、チャンスもたくさんあったのに、中々思うような結果を残すことができなかったのは残念でしたが、チームは常に最善を尽くしてくれた。この調子を加速して、また来期皆様にお会いしたいです。

41:伊沢拓也 選手 11 位

レースアクシデントと納得していますが、やはりチームメイトとの接触は残念。その後のペースがよかっただけに悔やまれます。今季は中盤でスピードを維持できませんでしたが、序盤と後半は快調でした、優勝のチャンスも何度かあったけど、チャンスを結果に結び付けられなかったことが課題です。今この時から、来シーズンに向けてチームと共にチーム総力の向上を目指します。1 年間の熱い声援ありがとうございました。